

8/20
(土)

~

8/22
(月)

大平建築塾

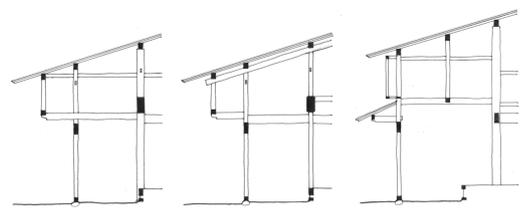
2016

主催：大平建築塾実行委員会
共催：大平宿をのこす会
協力：飯田市

HP：<http://sb-jin.seesaa.net/>
詳しい内容はホームページにアップしますのでご覧下さい

長野県飯田市大平宿で、自然に囲まれての竈と囲炉裏での食事づくりなどの過去の暮らしの体験を通し、大平宿の歴史、民家について学びます。

どなたでもご参加いただけます！建築関係のお仕事の方、山好き・歴史好きの方、学生の方、お友達、ご家族皆さんで、お誘いあわせてご参加ください。初めての方、お一人でのご参加、大歓迎です。（ボランティアスタッフも募集中です。）



大平宿の民家の特徴、「せがい造り」



「大平宿」は、飯田市(伊那街道)と中山道をつなぐ大平街道の中間地点に位置し、宝暦年間(江戸中期)から宿場と木炭の生産地として栄えた宿場町です。その後、鉄道の開通に伴いその役割を終え、昭和四十五年に一斉離村となりました。無住の里となった後、地元有志らによる大平宿の保存運動が始まり、昭和五十一年「大平宿をのこす会」が設立され、昭和五十七年「大平保存再生協議会」により、「大平憲章」が制定され、平成三年度に始まった飯田市の「ふるさとづくり特別対策事業」の結果、9棟の民家が改修されました。平成二十二年二月、大平宿周辺は、飯田市の水源地区及び自然環境と、江戸・明治期に建てられた民家を保全するために「準都市計画区域」に指定され、新たな保存再生の動きが始まりました。

「大平建築塾」は、民家を積極的に活用し、大平宿の保存を語り続けようという趣旨により、生活文化同人の主権によって、平成六年から、年に1回開催されることになり、平成二十六年で通算20回目となります。(平成十六年から第2期として再スタートしました。)

大平建築塾では、民家での宿泊体験と共に、周辺整備、障子の貼替えを行いながら、大平宿の生活環境と保存活用の経緯を学び、大平宿を通して日本文化・伝統技術を次世代に伝えることの大切さについて語り合ってきました。近年の大平建築塾では、建物実測や、柱の傾き・不同沈下等の破損調査、パンフレットやハガキの提案を行い、のこす会や飯田市への報告をいたしました。

大平建築塾 2016

●場所：長野県飯田市大平宿

●内容：

民家に宿泊し囲炉裏と竈で食事づくり、障子はり、民家周辺整備体験、建物実測体験、星の観察などを行います。

※さらに内容が決まり次第、HPにアップしますのでご確認ください。

●申込み方法：

下記HP内の参加申込みフォームからお申込みください。(E-mail/FAXでも可)
<http://sb-jin.seesaa.net/>

申込み締切： 2016年8月6日

●持ち物：

白米(ひとり3合程度)、
 寝袋(事前申込にて1泊1,000円でレンタル可能)
 ほか、詳しくは申込み受け後にご案内いたします。

●交通手段：

自家用車 / 高速バス・電車
 交通手段を申込書にご記入下さい。
 飯田市からは通常バス等がありません。高速バス・電車で飯田までお越しの方は、JR飯田駅前より、送迎車等を用意いたします。
 詳しくは申込み受け後、事務局からご連絡します。

●定員： 50名(先着順に受付します)

●参加費(宿泊代、食事代、薪代、300円/泊のトラスト募金を含みます)：

2泊3日 大人15,000円 学生10,000円 中/小学生5,000円 幼稚園生以下は無料
 1泊2日 大人12,000円 学生8,000円 中/小学生4,000円 幼稚園生以下は無料
 日帰りは無料(但し、食事に参加の場合は、一食につき500円いただきます。)

●参加費振込先：

申込みの上、参加費を以下にお振込み下さい。
 受付後、事務局から注意事項等の、パンフレットをお届けいたします(Eメールもしくは郵送)。

- ① 郵便貯金 総合口座 記号 10040 番号 91126741
 - ② ゆうちょ銀行 支店名〇〇八(ゼロゼロハチ) 口座 No.9112674
- 名義 生活文化同人事務局 ※振込み手数料は、参加者でご負担下さい。

